

6 m H A N D B O O K J A 1 W O B 齋藤 章

会社の昼休みに、図書室に寄って何かアンテナ関係の本でも無いかと思ひ、無線通信関係の本棚を見ていると、6 mHANDBOOK が目に入りました。

何故、会社の図書室に6 mバンドの本が有るのか不思議でした、そして、誰が何目的で購入したのかも不思議でした。

会社の図書室に、無線関係の本を多く見る事は有りませんでした、10年位前から携帯電話や電波時計の事業を開始してからは、時々見かける様になりました、しかしアマチュア無線の本が有るのには気づきませんでした。

早速、貸し出しの手続きを済ませて、読み始めると1994年7月の発行でした、当時は日本のアマチュア無線人口がピークの130万人となり、世界第一位になった頃でした。

インターネットも普及しつつありましたが、Windows95もまだ無く携帯電話もデジタル変わりつつありましたが、まだ高値のころだと思ひます。

私は1990年7月に再開局して翌年から50.240グループに参加し、電波伝播実験以後に移動運用に目覚めたころでした。

コンテンツは

- 1、6 mの基礎知識
 - 2、実践6 m入門
 - 3、6 mの電波伝播
 - 4、国内QSOの醍醐味
 - 5、6 mのDX
 - 6、6 mエリア別運用状況ワンポイント
 - 7、6 m製作&ヒント
- などです。

「6mの基礎知識」では、240各局もご承知の通り、入門バンドであり、HAMにとって入り易く、染み易く、奥深いバンドであり、アマチュア無線の全ての運用形態があり、ビキナーから超OMが運用している。

つまり、①ラグチュー②国内QSO③アワード④コンテスト⑤DX⑥移動運用⑦モービル運用⑧パケット通信⑨自作⑩ミーティングなどが照会されていました。

また、運用モードも、CW、AM、FM、SSB、RTTY、パケットなど真にALLモード運用が可能と紹介されています。

最近では、E-QSOがありますが、当時はパケットまでです
そこで、以下の様に自分の6m運用形態と照合してみました。

- ① ラグチュー ----- 開局当時は深夜までラグチューしていました
- ② 国内QSO ----- G/W やEスポでのQSOを楽しんでいます。
- ③ アワード -----1枚も無い
- ④ コンテスト -----年に4～5回参加している
- ⑤ DX -----アジア太平洋地域、VK、ZLなど実績があります
- ⑥ 移動運用 ----- 50%～60%は移動運用
- ⑦ モービル運用 -----最近は少なく週末のみ運用している
- ⑧ パケット通信 ----1994年から数年運用していました
- ⑨ 自作 -----初めての送信機は6m専用の終段2E26でした
- ⑩ ミーティング-----240のミーティングに参加している

また、モードでは

- ①CW ----- コンテストや移動局相手のRST交換のみ少々
- ②AM ----- 開局はAM、現在はコンテストやロールコール
- ③FM ----- 移動運用、モービル、固定でWiRESなど
- ④SSB ----- メインモードで80%から90%運用
- ⑤RTTY ----- 全くなし
- ⑥パケット ----- 1994年当時運用していました

以上が私の運用形態とモードです。

240各局はいかですか、自分の運用形態をJJ1SXA局の掲示版や240誌に、上記の項目内容で投稿して頂くと面白いとも思います。

次に「6mエリア別運用状況ワンポイント」では、1,2,3エリアは、局数が多いため、国内QSO、DX、移動運用など最もアクティブです。次に4,5,6エリアと78エリアは、都市部での運用局が多く、また、Eスポ時にはJCC/JCGを多く伸しているようです。

9、0エリアのHAM人口は少ないのですが、1,2,3エリアの局が、移動運用で多くQRVしている様です。JR6やJD1は1,2,3の都市部の人達が、移動運用でEスポに依り全国からのパイルアップを受ける事ができます。

この、6mエリア別運用状況のコーナーに、第24回関東モバイルハム同好会の集合写真が掲載されていましたが、そして良く見ると数人の240各局を確認する事が出来ました。

その他の、「6m電波伝播」「国内QSOの醍醐味」「6mDX」や「製作のヒント」などは省略します。

これから、春・夏と6mのコンディションも上がって来ますし、移動運用でロケーションのいい所に出かけて、アクティブにQRVするのもFBではないでしょうか。

SSBモバイルとラグチュウがメインのグループと思いますが、50.240以外の周波数にダイヤルを回してみて下さい、週末に移動運用をしている、当局（JA1WOB）が聞こえるかも知れません。

移動運用をした時やコンテストなどで、50.240以外の周波数で、240メンバーからコールされると、とても嬉しいものです。

50.240SSBモバイルグループをよりアクティブにする為にも、広い50Mバンドを活用して、大いにQRVしましょう。

そして、50.240SSBモバイルグループの広報をしましょう。

おわり